

ぞうしよてんけん 蔵書点検終わりました

蔵書点検とは図書館の本がちゃんとそろっているか、正しい場所に返っているか、機械を使って調べることです。本館の所蔵数は約45万冊ありますが、その1冊1冊全てを確認しているんですよ。

高い書庫も脚立を使って調べています。



閉架書庫には紙芝居も
沢山あるよ！

絵本もちゃんとあるかな？



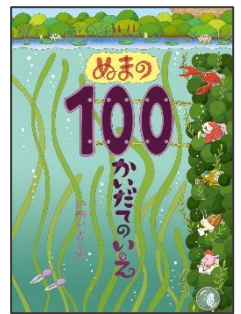
絵本作家のいわいとしおさんが塩尻市立図書館に来てくれました！

参加してくれた子がそれぞれのいえを作成して、最後に一緒に組み立てて大きないえになりました。個性的ないえばかりでどのいえにも住んでみたくくなりました。

新しい100かいたて
もう読んだかな？



いろんないえが出来たよ



『めまの100かいたてのいえ』
いわいとしお/作 偕成社



今年度のこども本の寺子屋のイベントが終了しました。沢山のご参加ありがとうございました。

\\ 今月のおすすめ本 //

吉田
分館

『学校では教えてくれない大切なこと
日本のこと
~伝統・文化・風習~』
森崎達也/マンガ・イラスト
旺文社



2月に行く節分はもともと「季節の分かれ目の日」という意味があるそうです。

この本は、日本の伝統・文化・風習について書かれていて、日本のことをもっと知るきっかけになる本です。

\\ SDGsの本 //



『つくって役立つ！
防災工作 水・電気・ガスが使えない暮らしを考える』
プラス・アーツ/監修 学研プラス



日本は安全な水やトイレが整っていますが、同時に災害の多い国です。能登半島の地震で水や電気が止まってしまった場所もあります。この本では、水を節約できる牛乳パックの食器や段ボールで作る非常用トイレなど、身近な材料で楽しく作れて災害時に役立つ工夫やワザを紹介しています。

読書推進アドバイザー

北原まりのおすすめ本

『じごくのそうべえ

桂米朝・上方落語・地獄八景より』

立春の前日の節分には、豆まきをして鬼を追い払い、無病息災を願います。その鬼たちがたくさんいる「じごく」におとされてしまった男のおはなしです。軽業師のそうべえは、綱渡りの芸の途中で綱から落ちてしまい、じごくにやってきました。そこで出会った、医者・歯ぬきし・山伏と一緒に大あはれ！たまりかねた閻魔様の下した命令とは。お父さんが読み聞かせをするのにもぴったりな一冊。

今年の節分は2月3日（土）です。



田島征彦/作 童心社

2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 ※	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 ※	24
25	26	27	28	29		

【休館日】 ■本館 ■広丘 ■分館 ■広丘・分館がお休み
□全館お休み

※ 12日、23日は、祝日のため18:00閉館です。

申し込み方法などは、ホームページやチラシで確認してください。

本当に怖いおはなし会

2024年 2月17日(土)

17:30-18:15(開場 17:00)

えんぱーく3階 多目的ホール

対象：小学校5年生以上

図書館員による

朗読や昔話の語りを中心にした本当に怖いおはなし会です。

小さいお子さんは参加できません。

中高生・大人のみ参加も歓迎です。